

平成24年度 公益財団法人栃木県体育協会事業報告書

基本方針

県民のスポーツ活動に対するニーズはますます増大し、かつ多様化しており、栃木県が策定した栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」の基本目標である“「安心」「成長」「環境」をともにつくる、元気度 日本一 栃木県”のため、スポーツを通じた人づくりとスポーツの振興を図り、「県民ひとり1スポーツ」の定着と「競技力の向上」に努め、「豊かなスポーツライフ」の実現を目指して、各種事業を推進した。

平成24年度は、加盟団体をはじめ関係機関・団体との緊密な連携のもと、健康マラソン大会・県民スポーツ大会の開催、スポーツ少年団の育成強化、総合型地域スポーツクラブの育成、スポーツ指導者の育成及びスポーツ国際交流等の諸事業を推進し、スポーツの普及と充実に努めるとともに、国民体育大会等に参加する選手の育成・強化事業を推進した。

これらの諸事業を推進するための拠点施設として、今市青少年スポーツセンター・栃木県体育館の施設整備と適切な管理運営に努めた。

1 スポーツ振興事業

(1) 各種大会開催事業

ア 栃の葉国体記念第30回健康マラソン大会の開催

平成25年2月10日（日）、栃木県総合運動公園（陸上競技場改修工事に伴い、スタート・フィニッシュ位置及び園内コースの一部変更で実施しました。）及び周辺道路をコースとして、栃の葉国体記念第30回健康マラソン大会が開催されました。

今年は、好天に恵まれ、予定どおり全種目が実施されました。山梨学院大学の伏島祐介選手（白鷗大学足利高校出身）、白鷗大学の臼井沙織選手（宇都宮文星女子高校出身）の特別参加選手も、参加申し込み数（1,857名）の内、当日参加者数 1,598名に交じり練習の成果を発揮し、交流を深めました。 [天候：晴れ 気温：9.2℃ 湿度：29%]

イ 栃木県民スポーツ大会の開催

「県民ひとり1スポーツ」の推進をスローガンとして、広く県民へのスポーツ振興を図り、生涯にわたる健康や体力の保持増進を図るとともに、明朗にして連帯感あふれた活力ある地域づくりに寄与することを目的として開催し、地方大会並びに中央大会の参加選手・役員は 29,884名が参加した。

① 地方大会（市町大会）

市町大会を中央大会の予選として、平成24年5月～8月にかけて開催し、22,235名が参加した。

② 中央大会実施競技

対抗競技21競技、オープン競技5競技を35会場で開催し、7,649名が参加した。

第1日目 平成24年10月21日（日） 水泳競技ほか19競技

第2日目 平成24年10月28日（日） 軟式野球競技ほか9競技

第3日目 平成25年 2月10日（日） ロードレース

③ 総合表彰式

平成25年3月25日（月）栃木県武道館（会議室）において、総合優勝、総合準優勝、総合第3位、スポーツ奨励賞市町の表彰を行った。

(2) スポーツ医科学事業

スポーツの多様化・高度化及び活性化に対応するため、スポーツ医・科学委員会が理事会の諮問に応じスポーツ医科学に関する調査・研究活動を実施するとともに、スポーツ医科学研修会等を開催し、適正なスポーツ指導と競技力の向上に努めた。

ア スポーツ医・科学委員会及び研究班員会の開催

- ① スポーツ医・科学委員会 3回（6月14日、9月27日、2月28日）
- ② 倫理審査会 1回（6月14日）
- ③ ワーキンググループ会議 3回（4月16日、11月22日、3月15日）
- ④ 総合支援事業代表者会議 1回（5月25日）
- ⑤ 健康管理調査研究班員会 3回（7月19日、8月30日、2月21日）

イ 調査・研究活動

① 国体選手の健康管理調査

健康管理調査研究班員を中心に、国体に参加する選手を対象にメディカルチェックを実施し、日ごろのトレーニングや大会参加中の事故防止に万全を期すると同時に、県内の(公財)日本体育協会公認スポーツドクターとの連携を図った。

② 医科学分野をはじめとする総合支援事業

一人でも多くの豊かなスポーツライフを享受するため、医科学分野をはじめとした総合的な支援事業を行う。今年度はモデル支援団体（白鷗大学男子バスケットボール部、宇都宮白楊高校サッカー一部）で実施した。

③ 国体選手を中心としたドーピング防止教育・啓発活動（健康管理調査研究班員会）

国体におけるドーピングコントロール実施に伴い、国体に参加する選手、監督及びコーチを対象に薬の乱用・誤用の認識を高めるため、研修会の開催や資料の配布等、健全なスポーツ活動を推進した。

(3) 顕彰事業

本県体育・スポーツの振興に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、その栄誉を称え表彰した。〔平成25年2月15日（金） 県公館〕

ア スポーツ功労賞

地域職域等において、指導者等として永年にわたってスポーツの普及・発展に貢献した者、又は、加盟団体等の役員・指導者として振興・発展に貢献した者6名を表彰した。

イ スポーツ優良団体賞

地域社会・職場職域等において、永年にわたってスポーツの普及・振興に貢献した5団体を表彰した。

ウ スポーツ優秀選手賞

国際大会に出場及び日本選手権大会で優勝並びに国際大会で優秀な成績を残した選手19名を表彰した。

エ 船田スポーツ賞

若手指導者として、国体、国際大会等で優秀な成績を収めた選手を育成し、今後も活躍が期待できる2名を表彰した。

オ 国民体育大会優秀団体・監督・選手感謝状

国民体育大会において、優秀な成績を収めた21競技団体の監督等37名及び選手175名に感謝状を贈呈した。

カ 栃木県中学校スポーツ最優秀賞（星功賞）

心身ともに健康な中学生を対象に各種スポーツ大会において優秀な成績を収め、本県中学校スポーツの振興に貢献のあった個人又は団体を、(公財)栃木県体育協会及び栃木県中学校体育連盟の連名で選手6名を表彰した。

(4) スポーツ指導者育成事業

本県スポーツの一層の振興を図るため、多様化・高度化した県民のニーズに応え、適切な指導のできる地域スポーツ指導者を育成した。

ア スポーツ指導員・上級指導員養成講習会の開催

① 指導員養成講習

地域住民のスポーツに対するニーズに対応し、自発的スポーツクラブやスポーツ教室における競技別の基礎的・導入的なスポーツ技術の指導等にあたる公認の指導者の養成を目的とするスポーツ指導員養成講習会は、県ホッケー協会・バレーボール協会・軟式野球連盟・弓道連盟と共催で83名受講した。なお、共通科目（通信講座）には93名（水泳13名・ホッケー5名・バレーボール15名・軟式野球29名・弓道28名・ソフトボール2名・銃剣道1名）が受講した。

② 上級指導員養成講習会

地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導や事業計画の立案などにおいて、クラブの中心的な役割を担うとともに、広域スポーツセンターや市町村エリアにおいて、競技別指導にあたる者の養成を目的とする上級指導員養成講習会は、競技団体より実施希望がなく実施されなかった。

イ スポーツ指導者研修会の開催

(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者及び本県のスポーツ指導者に対し、資質の向上と指導活動の充実を図ることを目的として平成24年12月9日（日）に開催し、県総合教育センターにおいて289名の参加者を得て実施した。

ウ (公財)日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰

永年にわたり公認スポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった者を表彰し、その功に報いるとともに、今後における公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資することを目的として実施されるものであり、平成24年度は1名が受賞した。

(5) 広報事業

本協会活動状況、主催事業等を積極的に広報するとともに、県内のスポーツ情報を収集し、広く県民に情報提供することに努め、県民の理解と協力を得るよう努めた。

ア 県体協だよりの発行

イ 体協アワー（栃木放送）による広報

ウ 栃木県体育館月報の発行

エ 今市青少年スポーツセンターパンフレットの発行

オ ホームページによる広報

カ その他新聞・放送等の媒体による広報

(6) スポーツ教室の開設

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設した。

○ スポーツ教室種目（4月～2月） 6講座

・ヨガ	1講座	(通年)	(参加者 延べ	984名)
・ストレッチ	2講座	(前期、夜間)	(参加者 延べ	646名)
・ズンバ	1講座	(通年)	(参加者 延べ	1959名)
・親子体操	1講座	(前期)	(参加者 延べ	72名)
・キッズプール(夏期)	1講座		(参加者 延べ	297名)

○ 「とちぎの子ども元気塾」事業

将来を担う子ども達に、様々な運動遊びを行い、身体を動かす楽しさを体験させ、子ども達の発育・発達に応じたスポーツの基礎づくりを行った。

・期間	通常スクール	15回
	宿泊スクール	2回
・種目	トランポリン・クライミング・自然観察・陸上競技・水泳・サッカー・体操・バドミントン・フットサル・スケート・タグラグビー・運動遊び・体力診断テスト	
・参加人数	通常スクール	延べ301名
	宿泊スクール	延べ37名

(7) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

日本スポーツ振興センターが行っている「スポーツ振興くじ助成事業」の総合型クラブ創設支援クラブである2クラブに対し、創設に向けた育成支援を実施した。また、県内の総合型クラブに対し、現地ヒアリングを行い、情報交換等を行った。クラブ未育成市町に対しては、啓発活動としてスポーツフォーラムを開催した。さらに、とちぎ広域スポーツセンターと連携し、「スポーツ振興くじ助成」を活用し、栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営の充実を図った。

ア クラブ設立・運営支援活動

- ① クラブ育成アドバイザーを1名配置した。
- ② 創設支援クラブ現地ヒアリングを実施し、設立に向けての支援を行った。

イ 普及・啓発活動

クラブ未育成市町である那須烏山市でクラブ啓発フォーラムを開催した。

ウ 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営

- ① 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を3回開催し、クラブ相互の情報交換やクラブ運営の研修を行った。
- ② 県総合型クラブ交流会を2月に開催し、クラブ間の交流、連携を深めた。

2 スポーツ少年団育成事業

(1) 市町スポーツ少年団の育成充実

スポーツ活動を通じて、次代を担う青少年の健康な身体と心を育てるとともに、全国的な子どもの体力低下に歯止めをかけるべく、体力向上に寄与した。また、地域社会における豊かな人間関係や連帯感を醸成するため、市町のスポーツ少年団指導者・団員の登録並びに母集団の育成強化を促進し、指導者・リーダーの養成及びスポーツ少年団活動の充実を図った。

ア 市町におけるスポーツ少年団組織の強化

市町スポーツ少年団組織の整備と充実強化を図るため、スポーツ少年団委員総会・指導者協議会等を開催するとともに日本スポーツ少年団及び各都道府県スポーツ少年団と連携強化に努めた。

イ 指導者・リーダーの養成

スポーツ少年団活動の充実を図るため、指導者及びリーダーの養成と資質の向上を目的とする講習会・研修会を開催するとともに、市町事業への助成と中央事業への派遣を実施した。

① 講習会・研修会の開催

○ 栃木県スポーツ少年団指導者研修大会

市町においてスポーツ少年団の育成・指導にあたっている単位団指導者・市町事務担当者・指導者協議会委員・保護者を対象に、スポーツ少年団育成に係る諸問題の把握と指導者の資質向上を図ることを目的として開催した。なお、研修会に先立ち、日本スポーツ少年団表彰伝達式及び県スポーツ少年団表彰状授与式を行った。

〔平成24年11月24日（土） 県総合教育センターで実施73名が参加した〕

○ 栃木県スポーツ少年団認定員再研修会

再研修義務化に伴い本研修会が認定員資格保持のための義務対象研修となり、認定員の資質の向上並びに団活動の充実を図るため開催した。

〔平成25年 1月13日（日） 県総合教育センターで実施132名が参加した〕

○ ジュニア・リーダースクール

スポーツ少年団で中核となるリーダーの養成を図り、将来におけるシニアリーダー、指導者を育成することを目的として、宇都宮市、鹿沼市、那珂川町、矢板市で開催し、宇都宮市52名、鹿沼市62名、那珂川町4名、矢板市18名合計136名認定した。

○ リーダーズクラブ研修会

スポーツ少年団のリーダーとしての資質の向上、会員相互による情報の交換及び親睦を図ることを目的として、1泊2日の合宿研修を含め3回の研修会を開催した。

〔延べ17名参加 このうち1泊2日の合宿研修を1回実施した〕

② 認定員養成講習会事業への助成

市町においてスポーツ少年団の育成指導にあたる「スポーツ少年団認定員」の養成を目的として、「日本スポーツ少年団指導者制度」に基づくスポーツ少年団認定員養成講習会（都道府県講習会）を開催し、3コース361名が参加した。

③ 中央事業への派遣

○ 日本スポーツ少年団認定育成員研修会（関東ブロック）

スポーツ少年団認定育成員で、認定期間を4ヶ年経過する者に対し「日本スポーツ少年団指導者制度」に基づく更新認定研修会に、該当する育成員15名を派遣した。

○ シニア・リーダースクール

スポーツ少年団リーダーの資質向上を図るとともに、将来における指導者の養成を目的としたリーダースクール（平成24年8月10日（金）～14日（火）静岡県国立中央青年の家にて開催）に1名を派遣し、シニアリーダーとして認定された。

(2) 全国・関東スポーツ少年大会・スポーツ少年団競技別交流大会等への派遣事業

全国または関東大会等に代表者を派遣し、様々な交流活動により各参加者の資質の向上を図った。

ア 第50回全国スポーツ少年大会

期 日：平成24年8月4日（土）～ 8月7日（火）

会 場：千葉県鴨川市

〔指導者1名、団員4名を派遣した〕

イ 全国スポーツ少年団競技別交流大会（軟式野球・バレーボール・剣道）

①「軟式野球」 期 日：平成24年8月2日（木）～ 6日（月）

会 場：北海道札幌市

② バレーボール 期 日：平成25年3月23日（土）～26日（火）
会 場：高知県南国市
県代表：女子 芳賀北（芳賀町）

③ 剣 道 期 日：平成25年3月25日（月）～27日（水）
会 場：佐賀県佐賀市
県代表：団体戦5名（鹿沼市スポーツ少年団）
個人戦2名（野木町・栃木市スポーツ少年団）

ウ 平成24年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会
期 日：平成24年9月29日（土）～30日（日）
会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター
〔指導者1名、リーダー1名を派遣した〕

エ 第31回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会
期 日：平成24年7月27日（金）～29日（日）
会 場：千葉県東金市
〔軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道の代表チームが参加した〕

オ 第43回関東ブロックスポーツ少年大会
期 日：平成24年8月10日（金）～12日（日）
会 場：茨城県土浦市
〔指導者1名、団員16名を派遣した〕

カ 第11回関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会
期 日：平成24年11月3日（土）～4日（日）
会 場：山梨県甲府市
〔指導者1名、リーダー2名を派遣した〕

(3) 県競技別交流大会・交歓会の開催

ア 競技別交流大会

軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・卓球・剣道・柔道・バドミントン・空手道の8競技について、各関係競技団体の協力を得て交流大会を開催し、3,453名の団員の参加があった。

イ 交歓会

市町の小学生団員の代表を対象とし、野外活動や文化活動による交流活動を通して、友情・自立・奉仕の精神を養い、地域における団活動の充実に資することを目的として開催した。

期 日：平成24年7月27日（金）～7月29日（日）

場 所：宇都宮市冒険活動センター

〔指導者8名、団員13名の参加があった〕

(4) スポーツ少年団国際交流事業

スポーツ少年団の発展を目的に世界的視野を持った将来のリーダーを育成するため、(公財)日本体育協会が実施するスポーツ少年団リーダー等の海外派遣及び受入事業を実施した。

ア 第39回日独スポーツ少年団同時交流

派 遣

期 日：平成24年7月31日（火）～8月18日（土）

派遣先：ドイツ連邦共和国
派遣者：団員 村田 翔太郎（宇都宮市）
磯 徹（宇都宮市）
指導者 時 敏夫
受入
期 日：平成24年8月4日（土）～ 8月7日（火）
受入先：那珂川町

(5) 顕彰事業

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位スポーツ少年団並びに指導・育成に貢献し功績のあった登録指導者等を表彰した。

[登録指導者表彰 5名、指導者表彰 5名、単位団表彰 6団、育成母集団表彰 4団]

3 競技力向上事業

国民体育大会において常に上位の成績を狙えるよう競技力の向上に努めるとともに、国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成を図るため、競技団体及び関係機関・団体との緊密な連携のもと各種事業の推進を図った。

(1) 選手育成強化運営事業

ア 競技力向上委員会の開催

理事会の諮問に応じ、本県の競技力向上を図った。

イ スポーツ医・科学委員会研究班員会の開催

国体選手の医科学サポートを行うとともに、選手育成強化に係わる医科学研究を支援した。

a スポーツ活動支援班：スポーツ医科学の面から本県スポーツ選手の支援を図った。

b 健康管理調査研究班員会：国民体育大会におけるドーピング防止教育について理解を深めるとともに検査実施に戸惑いなく対応し、競技に専念できるように支援した。

ウ 競技団体代表者会議の開催

本協会の事業方針・計画・予算等を競技団体に周知した。

エ 選手強化連絡会議の開催

競技力向上事業を効果的に進めるため、スポーツ行政関係者が一堂に会し情報の共有化を図り、本県の競技力向上を図った。

(2) 指導者養成事業

高度化する競技スポーツに対応するため、指導者を対象とした研修会等を開催し資質の向上を図った。

ア 競技力向上研修会の開催 【期日：平成24年11月9日（金）】

競技団体の指導者等が一堂に会し発掘・育成・強化方策について情報交換を行い国内における最先端の指導法や医科学知識等を習得することで競技力の向上を図った。

イ 競技別ヒアリング

競技団体の代表者とし、当該年の国体（県予選～本大会）と強化事業育成事業の取り組みについて分析し、今後の選手育成強化体制に関する課題と対策を検討した。

(3) 選手育成強化補助事業

本県の安定した競技力を確保するため、各競技団体の活動方針に基づき行われる選手育成強化事

業に対して支援した。

ア プロジェクトVロード事業

① 一貫指導グロウアップ事業

- 1) 一貫指導マニュアルに基づいた育成強化事業を推進し、一貫指導システムの確立を支援した。
- 2) 各競技の特性に応じた一貫指導マニュアルの作成を図るとともに育成強化体制の整備を推進した。

3) ジュニア育成

小学生から高校生までのジュニア層の一貫指導体制を整備することにより、少年種別選手の育成と競技力水準の向上を図った。

② トップ指導者招聘事業

国内トップレベルの指導者を招聘し、本県指導者の資質向上と選手の育成強化を図った。

③ 重点競技強化事業

本県の核となる競技種別に強化費を補助し、競技力の向上と国民体育大会における成績の向上を図った。

④ 強化指定事業所・クラブ・大学・選手事業

事業所・クラブ・大学や個人選手を指定し、本県トップチームやトップ選手としての意識づけを図り、国体並びに各種大会において活躍できるよう支援した。

イ 大会対策強化事業

① 基本強化事業

40競技団体の選手育成強化事業を支援し、競技団体内部の強化組織の充実や選手の育成強化及び指導者の育成を図った。

② 傷害保険加入

指導者並びに選手が競技に専念できるよう、スポーツ安全保険への加入を促進した。

ウ 中・高等学校強化奨励事業

① 中学校運動部強化奨励事業

中学校体育連盟主催の運動部活動振興事業に対し支援し、各種大会に参加する選手の育成強化を促進し、競技人口の拡大と競技力の向上を図った。

② 高等学校運動部強化奨励事業

高等学校体育連盟主催の運動部活動振興事業に対し支援し、各種大会に参加する選手の育成強化を促進し、競技人口の拡大と競技力向上を図った。

※ 参 照 国民体育大会

(1) 関東ブロック大会(東京都開催)

ア 実施競技(33競技)

- | | |
|---------|------|
| ○ 本大会競技 | 32競技 |
| ○ 冬季競技 | 1競技 |

- イ 中心会期
 - 本大会 平成24年 8月24日(金)～26日(日)
 - 冬季大会 平成24年12月14日(金)～16日(日)

(2) 国民体育大会

- ア 第67回本大会 岐阜県 平成24年 9月 13日(木)～9月17日(月)
平成24年 9月 29日(土)～10月 9日(火)
- イ 第68回冬季大会
 - スケート・アイスホッケー競技会 東京都・福島県 平成25年1月27日(日)～2月 1日(金)
 - スキー競技会 秋田県 平成25年2月16日(土)～2月19日(火)

4 今市青少年スポーツセンター事業

スポーツを通じて青少年の健全育成と地域スポーツの振興、また、生涯スポーツの実践拠点並びに競技スポーツの拠点として、施設の有効活用と適正な管理運営を図った。

(1) スポーツ推進事業

ア スポーツ教室の開設

〈種 目〉

- ・ピラティス 2講座 (春、秋：一般男女対象) (参加者 延べ481名)
- ・エアロビクス デイ 2講座 (春、秋：一般男女対象) (参加者 延べ248名)
- ・骨盤リセット 2講座 (春、秋：一般男女対象) (参加者 延べ263名)
- ・ヨガ 2講座 (春、秋：一般男女対象) (参加者 延べ383名)
- ・スケート 2講座 (冬：子供対象) (参加者 延べ268名)

イ トレーニングサポート(スケート) (参加者 延べ922名)

(2) 施設無料開放

県民の日記念協賛事業として、各種スポーツ教室の無料体験及び施設を一般に無料開放した。

開 放 日：平成24年6月17日(日) 参加者：414名

- ・各施設の無料開放
- ・各種スポーツ無料体験
 - 大縄跳び大会、キッズ(女子)サッカースクール、チャレンジクライミング、
 - ホッケーセミナー、ズンバ、リラックスヨガ

(3) 施設整備事業

施設利用者の安全と利用人員の増加を図るため、施設の保守整備・環境整備を実施した。

ア 各施設の保守・環境整備

(4) 日光市ホッケー場管理運営業務

日光市から委託を受け、日光市ホッケー場の管理及び運営業務を行った。

(5) 宿泊者・外来者の利用促進

平成24年度利用者数

- ・宿泊利用者 10,306名
- ・施設利用者 96,758名

5 栃木県体育館等管理運営事業

本県体育スポーツの中核施設として、施設の適正な管理運営を図るとともに、スポーツ教室、各種イベント等の事業を開催し、本県体育スポーツの振興を図った。

(1) 会議の開催

ア 栃木県体育施設協会役員会（理事会・総会）	7月13日（金）	本館大会議室
イ 栃木県体育施設研究協議会	12月3日（月）	上三川いきいきプラザ
ウ 専用利用調整会議	2月13日（水）	武道館大・小会議室

(2) スポーツ教室の開設

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設した。

○ スポーツ教室種目（4月～2月）	6講座			
・ヨガ	1講座	（通年）	（参加者 延べ	984名）
・ピラティス	2講座	（前期、夜間）	（参加者 延べ	646名）
・ズンバ	1講座	（通年）	（参加者 延べ	1959名）
・親子体操	1講座	（前期）	（参加者 延べ	72名）
・キッズプール（夏期）	1講座		（参加者 延べ	297名）

(3) 県民の日記念協賛事業（施設無料開放）

6月15日（金） 栃木県体育館内全施設

(4) 武道館協議会共催事業

- ア 栃木県宇都宮市地域社会（中学・高校）弓道指導者講習会
8月16日（木）～17（金） 栃木県体育館弓道場
- イ 栃木県宇都宮市地域社会合気道指導者講習会
10月13日（土）～14日（日） 栃木県武道館

(5) 貸館業務（本館・別館・武道館・弓道場・プール館）

利用者延数	専用利用	122,049名	
	普通利用	52,926名	（専用・普通利用合計 174,975名）
	その他	9,834名	（会議室 9,169名）
	合計	184,809名	

(6) 施設の点検整備

施設の利用者の安全と適正な管理運営を図るため、各施設の点検整備を行った。

- ア プール館観覧格子及び網戸取付工事
イ 遠的ネット・ワイヤー修繕工事
ウ 本館シャワー用給湯器循環ポンプ更新工事
エ 武道館火災受信機修理
オ 本館駐車場路面修繕工事
カ 弓道場（近的）雨戸交換工事
キ 本館倉庫出入口積層フローリング修繕及び塗装工事
ク プール館揚水ポンプ修繕
ケ プール館1階ロビー蒸気管漏水修繕
コ 武道館外灯器具交換
サ 武道館ボイラー修繕
シ 弓道場（近的）灯光器修繕
ス 卓球台・バスケットゴール修繕

6 スポーツ安全協会委託業務

公益財団法人スポーツ安全協会から委託を受ける、スポーツ傷害等の団体保険に関する業務を行った。

7 栃木県総合射撃場管理事業

本県射撃競技の中核施設として、射撃技術の向上のため管理運営してきたが、環境保全対策のため業務を閉鎖している。

8 協会運営

本協会の運営について、基本的事項を協議するとともに事業を遂行するため次のとおり、理事会等を開催した。

(1) 理事会（5回）

(2) 評議員会（4回）

(3) 専門委員会

ア 総務委員会（3回）

イ スポーツ医・科学委員会（3回）

ウ 競技力向上委員会（3回）

(4) 賛助会

県民総スポーツの振興が果す社会的役割と、これを推進する本協会の諸事業について県民各層の理解を得るとともに、事業実施に必要な資金を調達し財政確立を期するため、企業団体、加盟団体、個人会員等に働きかけ、賛助会員の加入促進を図った。

[賛助会員277者、336口]

(5) 日韓・日中スポーツ交流事業・地域交流推進事業

ア 日韓スポーツ交流事業・地域交流推進事業にサッカー競技の選手団36名を韓国から受け入れた。